

とおやまち



被災地に柔らかな音色響く

東日本大震災で被災した人たちを心配して来日した、イタリア・コモ市のハープ奏者ファビウス コンステーブルさん。5月12日(木)には子どもたちを元気づけようと地震で大きな被害のあった奴奈川小学校を訪問。ハープの優しく柔らかい音色が子どもたちの心を元気づけました。(関連記事23ページ)

主な内容

- 緊急経済対策 / 中心市街地活性化 2-5
- 新商品等開発支援事業 / 里山センター ほか 6-7
- ふるさと納税 / 就農者支援事業 ほか 8-11
- がん検診 / ゆずります ほか 12-13
- 水道週間 / はたログ ほか 14-15
- 地域の風 ~ 支所からのたより ~ 16-17
- きらめき青春 / お~い! 昔 ほか 18-19
- コメを食べよう / 小中一貫教育 ほか 20-21
- まちの話題TOPICS 22-23
- お知らせ・ガイド / 熱中夢中 24-30

長野県北部地震・東日本大震災対応緊急経済対策（第1次）

緊急経済対策額 1億5,910万円（補正予算額1億4,050万円）

十日町市では、長野県北部地震及び東日本大震災に対する緊急経済対策（第1次）を実施します。

今回の緊急経済対策は、長野県北部地震や東日本大震災の影響で低迷する市内経済活動の回復、長野県北部地震で被災した農林水産業施設の復旧、及び経済対策における効果の一部を義援金とした震災復興の支援を行います。

なお、今後も経済界の動向や降雪後の被災状況などを引き続き注視し、状況により更なる経済対策についても対応していきます。

観光業・飲食店、商店支援（3,755万円）

- 震災による風評被害や経済への不安でキャンセルが相次ぐ宿泊業への支援
- イベントや会合の自粛で消費が低迷する地元飲食店・商店の消費喚起

①フレンドシップ誘客促進事業（義援金付き）

- ・短期的な支援策として宿泊割引券を発行し、市と関わりが深い在京出身会や交流都市などに利用を働きかけて、宿泊施設などの集客向上と雇用の安定化を図ります。

②プレミアム観光絵はがき誘客促進事業（義援金付き）

- ・プレミアム観光絵はがきをりぴーター客などに送付し、キャンペーン期間中にはがきを持参した宿泊者に対して特産品などを贈呈することで、宿泊施設の利用促進と雇用の安定化を図ります。

③ようこそ先生！越後田舎体験研修ツアー事業

- ・越後田舎体験事業で交流のある首都圏などの学校の「教職員研修ツアー」を誘致し、宿泊施設の利用促進を図ります。
- ・この研修ツアーで十日町市の魅力をPRし、次年度以降の越後

757-5100、または川西商工会、中里商工会、松代商工会、松之山商工会

失業者支援（4,317万円）

- 長野県北部地震などで失業した被災者への支援

①震災復興緊急雇用創出事業臨時特例基金事業

- ・長野県北部地震などで失業した人を雇用します。

■問合せ・産業振興課
☎757-3139

農業者支援（3,850万円）

- 長野県北部地震で被災した農地・農業用施設、農林水産業施設の復旧に向けた農業者などへの支援

①震災復興農業者支援事業

- ・地震などで被災した農林水産業施設を復旧するための融資を受けた農業者などに対し、利子補給並びに保証料補助を行い、農業経営の早期再建と安定化を支援します。

②震災復興農業者小規模災害復旧支援事業

- ・地震などで被災した農地・農業用施設で、国庫補助対象に該当しない小規模な災害復旧経費に

田舎体験事業の学校受け入れの拡大を図ります。

④松之山温泉使用料減免

- ・震災の影響で宿泊客が激減していることから、松之山温泉の使用料を減免し、経営と雇用の安定化を支援します。

⑤地元飲食店などの消費喚起PR

- ・関係団体と連携して地元での消費喚起のPRを行い、飲食店・商店への誘客促進を図ります。

■問合せ

①②③④…観光交流課 ☎757-3100、⑤…産業観光企画課 ☎757-3691

企業支援（3,988万円）

○被災地にある工場の被害による

- 部品供給制約などで事業活動に影響が生じ資金繰りに苦慮している企業への支援

○技術力を連携し被災した皆さん

- を応援する企業や、新たに設備投資をする企業への支援

①中小企業信用保証料の補給事業

- ・売上げが落ち込み、事業継続のために資金繰りに苦慮している企業が、市の制度融資を利用したときの信用保証料補給割合の上乗せを継続実施し、企業経営及び雇用者の生活安定を支援します。（詳しくは3ページ）

②マル経融資の利子補給支援事業

- ・売上げが落ち込み、事業継続のために資金繰りに苦慮している企業に対し、商工会議所・商工会が取り扱う小規模事業所用の「マル経融資」の利子補給を行い、企業経営及び雇用者の生活安定を支援します。

③技術力連携震災復興支援事業

- ・市内企業グループが技術力を連携して被災地復興を応援する取り組みに対し助成を行い、被災地復興を推進するとともに、先進的な取り組みによる市内産業界のPR及び受注獲得の機会創出を支援します。

④頑張る企業応援事業

- ・震災不況を打破するため新たな設備投資やそれに伴う新規雇用を行う市内事業者に対し助成を行います。（詳しくは3ページ）

■問合せ

①③④…産業振興課 ☎757-139、②…十日町商工会議所 ☎

- 対し補助を行い、農業経営の早期再建と安定化を支援します。

③震災復興きのこ生産経営再建支援事業

- ・地震で被災したきのこ生産施設で国庫補助対象に該当しない生産資材（発生ビンなど）の復旧経費に対する補助を行い、生産者の経営再建を支援します。

■問合せ

①…農林課農業企画係 ☎757-3120、②③…農林課林政農災係 ☎757-9917

建設業支援（当初予算内）

- 公共事業の早期発注や前金払の特例など建設業への支援

①公共事業の早期発注

- ・地震などにより公共事業への国庫補助などの遅延や公共事業の減少が見込まれるため、早期発注を行い建設業などの雇用の安定化を図ります。

②市発注建設工事の前金払の特例

- ・前金払の割合を10%引き上げ、対象金額を130万円超に引き下げます。適用期間は平成23年度以内です。

■問合せ・財政課

☎757-3114

中小事業者への助成のお知らせ

中小企業信用保証料の補給事業

- 概要
新潟県信用保証協会へ支払う信用保証料の75%を補助します。（新規創業支援資金及び500万円以下の県セーフティネット資金は100%）
- 該当融資
市の制度融資（一部を除く）、県セーフティネット資金（経営支援枠）第1、3、4、6、8項
- 補給割合
75%（通常は50%）
- 補給割合上乗せ延長期間
平成24年3月31日まで

頑張る企業応援事業

- 概要
新分野進出や事業拡大のために新たな生産機械設備を取得する経費の一部を助成します。（既存設備などの更新は対象外）
- 対象者
3月11日以前から、市内で事業を行っていた、製造業・情報サービス業・宿泊業に該当する中小事業者
- 要件
12月31日までに500万円以上の生産機械設備を取得すること。（取得額が1,000万円以上の場合、1人以上の新規雇用を伴うこと）
- 補助金額
[新分野進出枠]
補助限度額1,000万円（補助率2分の1）
[事業拡大枠]
補助限度額500万円（補助率3分の1）

●問合せ：産業振興課 ☎757-3139

— みんなのよりどころである「まち」の再生を目指して —

十日町市中心市街地活性化基本計画の策定に取り組んでいます

市では平成22年度に、今後のまちづくりの指標である総合計画の後期基本計画を策定しました。計画では、まちづくり重点方針「活力ある元気なまちづくり」の中で、怒とうの人の流れの創出と地域に活力を生む経済政策の強化を掲げ、交流人口の増加による中心市街地の再生、商店街のにぎわい創出に取り組むことにしました。

その施策の一つとして、現在「十日町市中心市街地活性化基本計画」の策定に取り組んでいます。その取り組みをお知らせします。

中心市街地の役割をもう一度見つめ直しましょう

中心市街地は、都市の顔として、地域住民のよりどころとして、商業や行政機能、さまざまな産業が集積して発展してきました。高度経済成長期には、全国のどの中心市街地も活気がありました。この十日町市の中心市街地も地場産業の発展により同様ににぎわいがありました。

しかし、生活様式の多様化、自動車社会の進展、都市構造の変化などにより、地方のほとんどの中心市街地は活気を失ってしまいました。

これまで、平成11年に旧川西町、平成13年に旧十日町市で、それぞれ中心市街地活性化基本計画が策定され、ハード事業・ソフト事業の取り組みが行われてきました。その後、合併により新しい十日町市が誕生しましたが、平成16年に発生した中越大地震からの復興や新市の均衡発展という観点が重要視されたこともあり、これまで新市全体の中心市街地の位置付けや活性化について議論する機会から離れがちになっていました。

ソフト・ハードの両面から取り組みを考えることが必要だと言われています。

これからの計画づくりでは、中心市街地に何が求められているのか、それぞれがそれぞれの立場で何をしたいか、何ができるのか、そして、誰が事業の実施主体となるのかなどを考え、話し合っていくことが大切になります。

さまざまな立場の皆さんがこれらのことを話し合う機会として、4月下旬から事業検討ワーキングを開催しています。

今後、ワーキングでの検討結果や中心市街地活性化基本計画の策定に関する情報を市報などを通じて随時お知らせします。

全国には、その土地の文化や歴史を生かしてまちづくりを行い、観光や市民の交流でにぎわいを取り戻している地域がいくつもあります。

みんなのよりどころであり、活力のある中心市街地の再生に向かって、いっしょに取り組んでいきましょう。

問合せ

産業観光企画課 産業観光企画係
☎ 757-3691

た今、活力ある元気なまちをつくっていくために、市の顔であり、玄関として、ここに住む私たちのみならず来訪者にも魅力的な中心市街地をあらためて考えていくことが必要であると考え、新しい中心市街地活性化基本計画の策定に取り組むことにしました。



毎月10日に開催されている「とわか市」

市や中心市街地を取り巻く環境

わが国の総人口は2006年をピークに減少に転じました。また、65歳以上の高齢者の割合（高齢化率）も年々増加しています。

十日町市の人口も減少傾向が続いています。総務省統計局発表の平成22年国勢調査（速報値）では

58,926人となっていて、平成17年調査時の62,034人から3,134人減少し、減少率は5.01%となっています。

平成17年の国勢調査では、高齢化率は29.7%で、全国平均の20.1%を大きく上まわっています。

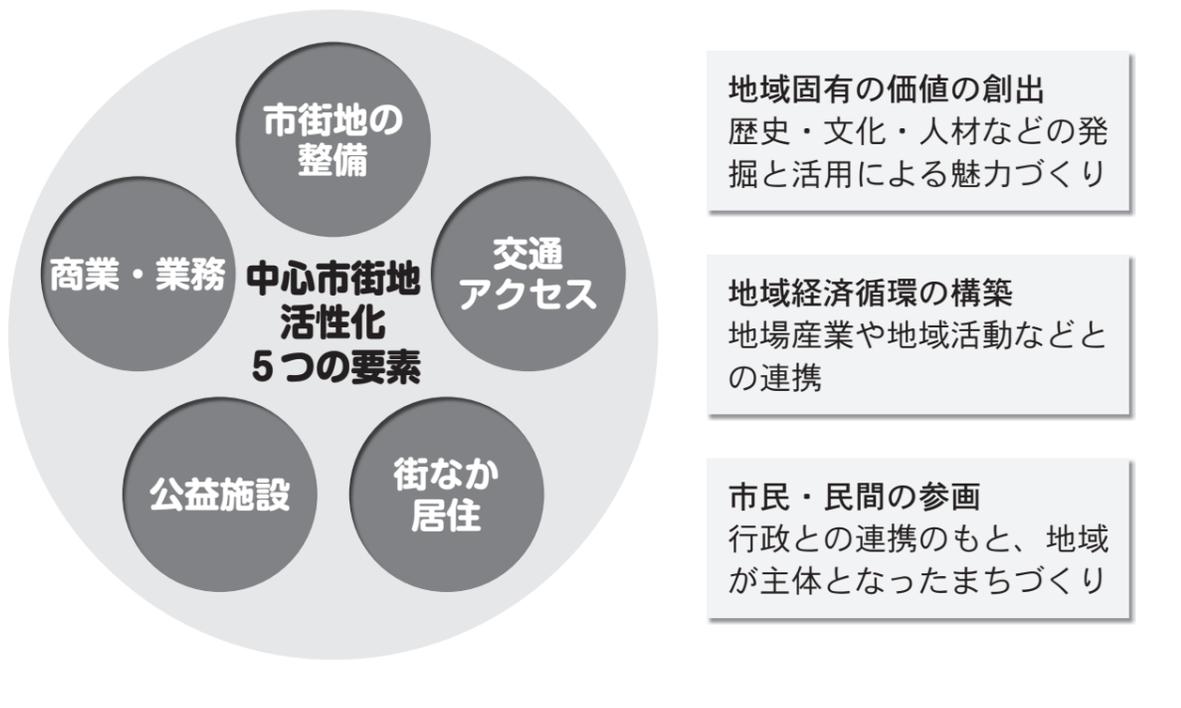
また、平成13年に策定された旧十日町市の中心市街地活性化基本計画では、さまざまな取り組みが行われてきましたが、郊外大型店への人の流れを中心市街地に戻すことはできませんでした。併せて平成16年に発生した中越大地震の影響もあり、空き地や空き店舗の増加が更に進むなか、有効な活性化策を見いだせないままとなっていました。

さまざまな魅力にあふれた中心市街地に

これからの中心市街地の活性化は、子どもから高齢者まで市民の皆さんにとってよりどころとなる空間にすることはもちろん、十日町市を訪れる観光客にとっても魅力あふれる場所にする必要があります。

また、中心市街地を再生することが、その地域だけではなく、全

中心市街地活性化の視点



将来のにぎわいを夢みていっしょに取り組みましょう

中心市街地活性化基本計画は、魅力あるまちづくりを実現するために市民みんなで将来像を共有し、その将来像の実現を確実なものとするために、5年程度で実行可能な取り組みを明確化するものです。

計画を国に申請し「認定」を受けると、国などの有利な支援策を受けてさまざまな取り組みを実施することが可能になります。

認定申請は市が行うことになっていますが、計画づくりは市だけで行うものではありません。市民の皆さんが、将来のにぎわいを思い描きながら、いっしょに取り組んでいくものです。

中心市街地の活性化には「市街地の整備」「交通アクセス」「街なか居住」「公益施設」「商業・業務」の5つの取り組みの視点をもって

あなたのアイデアで新商品づくり
新ビジネスを目指しませんか？

「十日町市新商品等開発支援事業」 募集のお知らせ

新商品の開発に向けた新しい技術やアイデアの提案を募集します。企業はもちろん、個人の企画やアイデアも広く支援対象としています。あなたのアイデアで新商品づくり、新ビジネスを目指しませんか。気軽に相談してください。

①製作部門

- ・試作品の製作
- ・補助限度額100万円（補助対象経費50万円以上、補助率2分の1）

②企画部門

既存商品などの付加価値を高めるための企画（デザイン、販売・サービス方法など）

- ・補助限度額20万円（補助対象経費20万円以上、補助率2分の1）

③アイデア部門

個人やそのグループによる、起業を視野に入れた商品開発に向けたアイデアを具体化するた

めの取り組み

- ・補助限度額10万円（補助対象経費5万円以上、補助率2分の1）

④起業準備部門

- ③の取り組みで事業採択された人による起業準備（設備投資）
- ※事業採択の翌年度に限る
- ・補助限度額20万円（補助率2分の1）

なお、①②③については、7月に審査会（申請者によるプレゼンテーション）を開催して採択の可否を決定します。

■申込み期限

6月30日(木)まで

■申込み・問合せ

産業振興課雇用開発係
☎757-3139

（財）山の暮らし再生機構

十日町市里山センター

—活動を紹介します—

〒942-1592
十日町市松代支所内
☎595-6670
FAX595-6671

十日町市里山センターは、4人の支援員が市内5地域を分担して活動しています。今回は、松之山地域を担当する支援員の活動の一部を紹介いたします。

●高齢化集落などへの支援

里山センターは地域おこし協力隊やNPO松之山いきいき隊と協力していくつかの支援を企画しています。例えば、出かけることが困難な人には「買い物の代行サービス」や「薬の代理受け取り」、一人で病院などに行けない人には



埼玉県加須市での松之山物産店風景

●地域コミュニティの再建・活性化支援

布川地区を中心に住民の皆さんと楽しみながら、さまざまな事業に取り組んでいます。中尾集落では「鏡ヶ池」をキーワードに集落の未来を考える「鏡ヶ池わくわく広場プロジェクト」を企画。また、毎年5月3日には埼玉県加須市に初物の山菜などを販売する松之山物産店を出店しています。昨年は加須市の地域団体が布川地区を訪れ、山菜採りを楽しみながら相互の交流も始まっています。

●農村の活性化支援

（有）湯米心と協力して、首都圏に向けて松之山産コシヒカリの販売を行いました。お客様の反応も上々で、地元特産品の販売を通じて松之山のファンが増えることを期待しています。また、女性の視点で農村を活性化するための試みも始めています。楽しみながら活動できる女性グループづくりを応援します。

●つながりを大切にして新たな地域づくりを目指します

「ありがとう」「おかげさんで」笑顔」をキーワードに里山と都市をつなげる活動をしている団体「とんぼプロジェクト」や世田



女性グループによる「とんぼつき料理教室」



美人林コンサート（緑の百年物語）

谷区とハーフマラソンを通じたスポーツ交流を始めた新座地区など、都市との交流を深めて、温かいネットワークづくりを目指している団体を応援しています。地域の内外を問わず、一人でも多くの人たちがつながっていくことは、必ず地域の元気に、地域の未来へとつながります。行政に頼るだけではなく、これからは地域で力を合わせる時代を迎えています。言葉だけの地域振興ではなく、「小さなことから自分たちでできることはやっていく」そんな地域の仕組みづくりを地域の皆さんといっしょに考えていきます。

とおかまち応援寄附金（ふるさと納税）の活用事業をお知らせします



平成22年度に市内外からお寄せいただいたふるさとを思う温かい寄附金は、118件、917万8,005円となりました。大変ありがとうございました。
平成22年度の活用実績と平成23年度の活用予定事業を報告します。

●問合せ：企画政策課 ☎757-3193

平成22年度の活用実績

- 【寄附金メニュー①】雪まつりや雪を楽しむイベントの開催（1,020万円）
 - 第62回十日町雪まつり補助金の一部に20万円を活用しました。
 - 十日町商工会議所が実施した「雪ものがたり120事業」に対する補助金の一部に1,000万円を活用しました。
- 【寄附金メニュー③】子ども・高齢者・障がい者にやさしいまちづくり（100万円）
 - 高齢者の明るく元気で健康な生活を応援する「たっしやで100事業」の経費の一部に50万円を活用しました。
 - NPO法人が整備する生活介護施設に対する補助金の一部に50万円を活用しました。
- 【寄附金メニュー④】子育てしやすい教育環境の整備（30万円）
 - 乳幼児健診時にボランティアや保育士による絵本の読み聞かせを行い、絵本を無料配布する「ブックスタート事業」の経費の一部に活用しました。
- 【寄附金メニュー⑤】道路や住宅の雪対策（27万5,100円）
 - 平成22年度の記録的な豪雪に対

して、市道に認定されていない生活道路の冬期間の交通を確保するため、「認定外道路除雪助成事業」の経費の一部に活用しました。

- 【寄附金メニュー⑥】自然環境の保全（10万円）
 - 生ごみ処理機やペレットストーブ購入補助などを行う「バイオマス利活用推進事業」の経費の一部に活用しました。
- 【寄附金メニュー⑦】自然エネルギーの活用（5万円）
 - ミオンなかさとのベレットボイラー・太陽光発電システム導入経費の一部に活用しました。
- 【寄附金メニュー⑧】スポーツ健康都市づくり（6万円）
 - 地域のスポーツ活動の拠点組織



となるスポーツクラブを育成する「総合型地域スポーツクラブ育成事業」の経費の一部に活用しました。

- 【寄附金メニュー⑨】芸術文化活動の振興（30万円）
 - 第16回石彫シンポジウム開催経費の一部に活用しました。
- 【寄附金メニュー⑩】市長にお任せ（503万6千円）
 - 児童の医療費の一部を保護者に助成し、経済的負担の軽減を図るとともに、疾病の早期発見や早期治療を促進するため、保険診療分の医療費について、窓口負担分を超えた額を助成する「児童医療費助成事業」の経費の一部に120万円を活用しました。
 - 森林の荒廃化を防ぐため、住民の共同作業により集落共有林の倒木処理や関連作業道の整備などを行った場合に助成を行う「集落共有林整備支援事業」の経費に43万6千円を活用しました。
 - 集落など、地域住民で組織する団体が行う地域の特性を生かした個性豊かな集落づくりのための自主的な活動を支援する「地域活性化支援事業」の経費に340万円を活用しました。

平成23年度の活用予定事業

- 【寄附金メニュー①】雪まつりや雪を楽しむイベントの開催（20万円）
 - 昨年度に引き続き、とおかまち雪まつり補助金の一部に活用します。
- 【寄附金メニュー③】子ども・高齢者・障がい者にやさしいまちづくり（50万円）
 - 昨年度に引き続き、「たっしやで100事業」の経費の一部に活用します。
- 【寄附金メニュー④】子育てしやすい教育環境の整備（30万円）
 - 昨年度に引き続き、「ブックスタート事業」の経費の一部に活用します。
- 【寄附金メニュー⑥】自然環境の保全（10万円）
 - 昨年度に引き続き、「バイオマス利活用推進事業」の経費の一部に活用します。
- 【寄附金メニュー⑦】自然エネルギーの活用（4万円）
 - 家庭での太陽光発電の普及を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置した人に補助金を交付する「住宅用太陽光発電システム設置補助事業」の経費の一

部に活用します。

- 【寄附金メニュー⑧】スポーツ健康都市づくり（1万4千円）
 - 昨年度に引き続き、「総合型地域スポーツクラブ育成事業」の経費の一部に活用します。
- 【寄附金メニュー⑨】芸術文化活動の振興（8千円）
 - 昨年度に引き続き、石彫シンポジウムの開催経費の一部に活用します。



- 【寄附金メニュー⑩】市長にお任せ（500万円）
 - 昨年度に引き続き、子ども医療費助成事業（昨年度は児童医療費助成事業）の経費の一部に120万円を活用します。
 - 昨年度に引き続き、集落共有林整備支援事業の経費の一部に50万円を活用します。
 - 昨年度に引き続き、地域活性化支援事業の経費に、330万円を活用します。

寄附金の明細

寄附金の活用メニュー	H21年度 未残高（円）	H22年度 寄附件数（件）	H22年度 寄附金額（円）	H22年度 活用額 （実績）（円）	H23年度 活用予定額 （当初予算）（円）
①雪まつりや雪を楽しむイベントの開催	8,363,000	41	4,061,000	10,200,000	200,000
②大地の芸術祭の開催や作品管理	486,400	34	1,675,000	0	0
③子ども・高齢者・障がい者にやさしいまちづくり	1,685,500	7	940,000	1,000,000	500,000
④子育てしやすい教育環境の整備	370,000	5	380,000	300,000	300,000
⑤道路や住宅の雪対策	245,100	2	30,000	275,100	0
⑥自然環境の保全	130,000	5	179,005	100,000	100,000
⑦自然エネルギーの活用	90,000	0	0	50,000	40,000
⑧スポーツ健康都市づくり	64,500	1	10,000	60,000	14,000
⑨芸術文化活動の振興	308,000	1	100,000	300,000	8,000
⑩市長にお任せ	14,137,422	22	1,803,000	5,036,000	5,000,000
合計	25,879,922	118	9,178,005	17,321,100	6,162,000

市民の手で芝生ひろばをひくりますよー！

ポット苗方式芝植えに参加し協力をお願いします

- 日時：6月17日（金）～19日（日）
午前9時30分～正午、午後1時30分～5時（この時間内であれば、いつでも何分でも結構です）
- 会場：吉田クロスカントリー競技場
- 作業内容：約40,000株のポット苗植え
- 持ち物：移植ごて（手シャベル）・軍手
- 服装：汚れてもよい服装・長靴

■その他：雨天でも決行しますので雨具の用意をしてください

■問合せ：スポーツ振興課 ☎756-5013



新規就農者支援事業を拡充しました

農家戸数や農業労働力の減少、農村の高齢化及び後継者不足は全国的な傾向であり、十日町市でも担い手の確保・育成が緊急の課題となっています。市では就農希望者相談窓口の設置や農業実習など、新しい担い手発掘のための事業を新規に開始します。

◎就農希望者相談窓口の設置 (新規)

「農業に興味がある」「農業をやってみたいがどうしていいかわからない」そのような人はぜひ相談してください。

〔相談窓口〕

十日町市担い手育成総合支援センター
（農林課内）☎757-3120

◎農業実習受入支援事業 (新規)

農業実習生を受け入れて農業実習を行った場合、実習費用の一部を受入農家へ助成します。

【実習基準・助成額など】

- ・実習期間…1か月〜3か月（1か月おおむね20日以上、1日おおむね8時間）
- ・実習内容…受入農家の指示による農作業（稲作・畑作・酪農などの軽作業）

- ・助成額…月額2万円（実習生1人当たり）※ファームステイ実習は月額5万円

農業実習生募集

将来、十日町市で農業の担い手として活躍してもらえ人を募集します。

農業実習生受入農家募集

農業実習生を受け入れてもらえる農家を募集します。

詳しくは市ホームページ、または十日町市担い手育成総合支援センター ☎757-3120



◎新規就農者家賃補助事業 (新規)

新規就農者へ3年間家賃を補助します。U・Iターン者などの就農と定住を促進します。

【対象者】

認定就農者（就農計画を県知事に認定された者）で、将来農業経営の担い手として発展する可能性のある者

【助成額】

家賃の3分の1を補助（月額上限1万5千円）

◎資本装備支援事業

国または県の補助事業で、新規就農者が農業機械・施設整備をした場合、市が30%の上乗せ補助をします。これにより、資本装備には6割〜8割の助成が受けられます。

◎利用権設定促進事業 (県単)

県農林水産業総合振興事業（県単）で認定就農者が利用権設定する場合、2分の1の補助が受けられます。（助成対象期間3〜5年、上限面積…田5ヘクタール、畑3ヘクタール）

■問合せ

農林課農業企画係
☎757-3120



支援活動の内容は

集落で組織（団体）を設置し、次の支援活動を行います。

- ①要援護世帯などへの支援活動
 - ・冬場の私有地内の避難路確保や安否確認、屋根の雪下ろしの支援
 - ・日常の見守りなどによる安全と安心確保のための支援
 - ②集会所など公共施設の維持管理
 - ・事故や災害など非常時の救援
- ※要援護世帯とは、高齢者世帯、母子世帯、身障者世帯などのこと

補助金の上限額

1組織（団体）年間10万円

申請方法

次のものを、提出期限までに市窓口へ提出してください。

- ①補助金交付申請書
 - ②集落安心づくりの会規約
 - ③予算書
 - ④役員・会員名簿
- 提出期限
9月30日（金）

集落ぐるみの支え合い

集落安心づくり事業

実施団体を募集します

申込み・問合せ

福祉課高齢福祉係（☎757-9758）及び各支所市民課福祉・介護係
事業内容や取り組み方法など不明なことは、気軽に問い合わせてください。

集落内の高齢者や障がい者などの世帯を集落ぐるみで支え合う「集落安心づくり事業」。要援護者世帯などの安全と安心を確保し、集落と市の協働による支え合いのまちづくりを目指します。

集落安心づくり事業とは

この事業は、同じ集落（行政区）に暮らす高齢者や障がい者などの世帯に、冬場の私有地内の避難路確保や日常の見守りなどの支援活動を行う場合、市がその費用の一部を補助する制度です。22年度は、45集落、49団体が取り組みました。

対象集落

中山間地域の集落（下表の行政区）及び高齢化率が40%以上の集落が対象です。

補助を受けるには

- この事業の補助を受けるためには、おおむね一つの集落（行政区）で、次のような組織を設置する必要があります。
- ①集落全体で設置する場合
おおむね8割以上の世帯が加入
 - ②集落の1区域で設置する場合
20戸以上の世帯が加入

地域	対象集落（行政区）
十日町	猿倉 津池 菅沼 大池 十日町赤倉 市之沢 嘉勝 轟木 焼野 魚之田川 新水 宇田ケ沢 中条菅沼 山新田 東枯木又 西枯木又 藤平 三ッ山 上田原 池谷 笹之沢 落之水 池之平 孕石 長里 控木 田麦 二ツ屋 船坂 塩ノ又 樽沢 中手 中平 名ヶ山 仙之山 平 渡野 慶地 二子 願入 塩野 天池 細尾 池ノ尻 漆島 池沢 野中 鉄柄沢 当間 大石 南雲 中在家 水沢市ノ沢 珠川
川西	元町 新町新田 下平新田 三領 小根岸 木落 寺ヶ崎 塩辛 原田 根深 下原 中仙田 室島 小脇 高倉 田戸 赤谷 岩瀬 大倉 大白倉 小白倉
中里	芋沢 田沢本村 東田沢 如来寺 豊里 通り山 高道山 朴木沢 宮沢 市之越 鷹羽 白羽毛 程島 東田尻 角間 葎沢 土倉 倉下 芋川新田 小出 西方 西田尻 芋川 倉俣 重地 清田山 中里下山 田代 新屋敷 本屋敷 堀之内 宮中
松代	全行政区
松之山	全行政区

※高齢化率40%以上の集落（行政区）へは、後日市政事務嘱託員宛てに、個別に案内をします

ゆずります・ゆずってください

4月10日号の市報で募集した「ゆずります・ゆずってください」に3点の品物が集まりました。品物がほしい人は下記の連絡先まで電話で申し込んでください。複数の人から希望のあった品物は、申込み締切り後に抽選で決定します。当選・落選については、6月25日(土)までに連絡します。

“ゆずります”品物一覧

番号	品物区分	詳細	希望金額
1	介護用ベッド	上半身起伏電動式(足起伏連動)折りたたみ可、マットレス・キャスター付き	無料
2	ベビーカー	Combi ジョイフラットAEG AB型、両面使用	5,000円
3	エアロバイク	コンビエアロバイクEZ101 新品同様	20,000円

※産業振興課(本庁舎2階)、各支所、各公民館、市ホームページで品物の写真を見ることができます。

■申込み期間: 6月10日(金)までの午前9時~午後4時 ※土・日曜日、祝日を除く

■申込み・問合せ: 市消費者協会 ゆずりますゆずってください事務局
(産業振興課商工振興係内 ☎757-3139)

子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券の配布準備を進めています

問合せ
健康支援課成人保健係
☎757-9764
または各支所市民課
健康・子育て係

市では、「がん検診推進事業」を実施します。7月中旬には、次の対象者に「子宮頸がん検診」または「乳がん検診」の無料クーポン券と検診手帳を郵送します。

●クーポン対象者

平成23年4月20日現在で市内に住所を有する次の表の人

【子宮頸がん検診】

年齢	対象生年月日
20歳	平成2年4月2日~平成3年4月1日
25歳	昭和60年4月2日~昭和61年4月1日
30歳	昭和55年4月2日~昭和56年4月1日
35歳	昭和50年4月2日~昭和51年4月1日
40歳	昭和45年4月2日~昭和46年4月1日

【乳がん検診】

年齢	対象生年月日
40歳	昭和45年4月2日~昭和46年4月1日
45歳	昭和40年4月2日~昭和41年4月1日
50歳	昭和35年4月2日~昭和36年4月1日
55歳	昭和30年4月2日~昭和31年4月1日
60歳	昭和25年4月2日~昭和26年4月1日

●クーポンの対象となる検診

23年度の市が実施する「子宮頸がん検診」「乳がん検診」です。

※人間ドックや職場検診、医療機関での個別受診には使えません

●既に市の検診を申し込んである人には

検診日までにクーポン券が届いている場合は、検診当日に持参してください。無料で受診できます。

●これから受診を希望する人には

クーポン券の対象者で、これから受診を申し込む人には、8月~12月に専用の検診日を設けます。

※詳しくは、7月のクーポン券郵送時にお知らせします

【5月31日は世界禁煙デー】 5月31日(火)~6月6日(月)は禁煙週間

みんなで知ろう! たばこの規制に関する 世界保健機関枠組条約

「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」は、たばこの消費などが健康に及ぼす悪影響から現在と将来の世代を保護することを目的として、たばこに関する広告、包装上の表示などの規制及びたばこの規制に関する国際協力について定めています。

市の健康増進計画「健康とおかまち21」において、禁煙を推進するとともに、受動喫煙の防止に努めています。

市民一人ひとりが、たばこによる健康被害について正しく認識し、快適な生活空間づくりを心がけましょう。
◎世界保健機関枠組条約の詳細に関しては、外務省のホームページ (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/treaty/treaty159_17.html) をご覧ください

■問合せ: 健康支援課成人保健係 ☎757-9764

十日町市青少年育成委員を紹介します

市では、40人の青少年育成委員(「少年補導委員」を改称)を委嘱しています。青少年育成委員の皆さんは、市内の街頭巡回パトロールを中心に、声かけによる青少年の非行防止活動や保育園・学校訪問など、青少年を健やかに育むための環境づくりを行っています。本年度、役員改選が行われましたので、委嘱を受けた委員を紹介します。

- 【十日町地区】 関口美枝(副委員長) 長: 宮沢隆芳・小宮山隆・真霜亨
- 【新座地区】 越井範行(副委員長) 長: 小川岐一
- 【大井田地区】 庭野俊夫・新田伊久雄
- 【中条地区】 徳永武作・金子哲也・大津学
- 【飛渡地区】 池田博
- 【十日町西地区】 藤巻厚子・高橋憲一・村山貴樹
- 【川治地区】 村山貞夫(副委員長) 長: 渡辺孝一・齋木修
- 【六箇地区】 福崎一之
- 【吉田地区】 太田松雄(委員長) 長: 児玉光雄・春日靖子
- 【下条地区】 上村芳博・水落文一・田村良行
- 【水沢地区】 瀧澤光郎・佐藤幸雄・金澤孝至
- 【川西地区】 南雲隆・星名久徳
- 【中里地区】 渡貫裕子
- 【松代地区】 藤田恭子
- 【松之山地区】 室岡徹・柳ふじえ
- 【松之山地区】 関谷敏明・渡辺新一・小野塚茂

◆問合せ: 生涯学習課
☎757-8918



『いきいき人生 よい歯のコンクール』 参加者募集

県や市では、自分の歯で食べ健康な生活を送る高齢者のよい歯のコンクールを行います。次のすべての条件に該当する人は申込みができます。申込者には6月15日(水)十日町保健センター(市役所隣)で歯科健診を行い、県に推薦する人を選出します。

- 条件: ①平成23年4月1日現在で満70歳以上②親知らずを除く歯の本数が、80歳以上の方は20本以上、70~79歳の方は24本以上③治療していない虫歯が5本以下④ぐらぐらする歯がないなど歯周病が重症でない

●申込み・問合せ
6月10日(金)までに
健康支援課母子保健係
☎757-9759



十日町の働く現場を紹介します。

■問合せ 産業振興課 ☎757-3139

株式会社 村山商会

～生活日用品、LPガス、灯油をはじめ建築土木資材、農業用品など幅広く取り扱っています。豊富な品揃えとコミュニケーションを大切に、お客様から信頼され、顔の見える店づくりを心がけています～

創業は昭和32年。市内・県内外に営業所を構え、建築・土木資材を建設関連業界に販売しています。また、本町6にガソリンスタンド、高山バイパス沿いにLPガスタンクや灯油地上タンクなどを有し、地域の燃料供給に貢献しています。また、「リフォームムラヤマ」では、生活日用品や、園芸・農業用品などを販売しています。多くの顧客データを的確に管理するため、平成2年から2年間、日本IBM株の特約店に社員を派遣し、管理ソフトウェアを育成。その他液化石油ガス、危険物、建築士、電気工事士などの



資格も取得し、「人（社員）づくり」を積極的に進めています。また、お客様とのコミュニケーションを大切にし、園芸祭、創業祭を開催するなど市民に楽しんでもらえる取り組みにも力を入れています。東日本大震災では災害救援隊の派遣要請を受け、気仙沼市に社員を派遣し、仮設住宅の建設工事作業を行いました。今後もライフラインの確保を使命とし、社員教育による組織力の向上を図りながら、地域に頼られ愛される居心地のよい店づくりに努めます。



～各種式典や展示会、イベントの企画・設計・施工・運営管理などを手がけています。県内随一のイベント専門会社として、小回りの良さを生かし、地域密着型をモットーに、みんなが笑顔で集える空間を提供していきます～

小松屋装飾 株式会社



昭和45年の創業当時は、主にやぐら組みや地鎮祭の手伝いをしていました。その後、高速自動車の開通により、式典が連日開催された時期に併せて仕事量が増加し、資機材の所有数が拡大していきました。現在は、県内外のイベントや展示会の企画や設計・施工・運営管理などを行っています。毎月30～40のイベント設営を請負い、ビッグスワンで開催されるサッカーの国際大会の会場設営なども手がけています。また資機材の規模としてはパイプ椅子3,000脚、テーブル600台、テント200張りなど保有し、県内随一の

イベント設営専門会社となっています。これまで社員一人ひとりが「職人魂」を持ちながら、イベント業のプロとして専念し、お客様が困ったことや急な要望にも断ることなく対応してきました。また安全第一を心がけ、悪天候であれば夜中でも現場に駆けつけ、事故の未然防止に努めています。これからも地域に根ざした事業展開と、次世代を担う若者の育成を図りながら、ヒトが集まり活気にあふれ、潤いに満ちた交流の場を創造していきます。



株式会社 村山商会

代表者：代表取締役 村山 芳夫
 所在地：十日町市高田町6
 連絡先：☎757-5105
 従業員数：60人（埼玉・千葉営業所、新潟関連会社を含む）
 事業内容：建築・土木資材、燃料、LPガス、日用品、農業・園芸資材の販売
 採用計画：毎年4月に新採用
 理念/方針：地域密着型・顧客満足度の向上



小松屋装飾 株式会社

代表者：代表取締役 富井 雄治
 所在地：十日町市市之越卯1144
 連絡先：☎763-3009
 URL：http://www.komatsuya.jp/
 従業員数：30人
 事業内容：イベントの企画・施工・運営管理、ディスプレイの企画・制作
 採用計画：未定
 理念/方針：魅力的な空間創造と、良いサービス・製品の提供を生涯追求し社会発展に貢献する



十日町市の水道利用状況

(平成23年4月1日現在)

区分	給水人口(人)	割合(%)
上水道	33,227	55.4
簡易水道	25,373	42.3
小規模水道	245	0.4
組合営水道	211	0.3
自家用水のみ	968	1.6
合計	60,024	100

特に、確認しにくい床下や地中の漏水は発見が遅れることが多く、相当の額の水道料金が請求されることとなります。日頃からメーターの検針は、2か月に1回です。宅内の給水管の漏水やメーターボックス内の止水栓の故障は、使用者（所有者）の管理責任となります。

漏水にご注意ください！

水道は、健康で文化的な生活や、さまざまな社会経済活動を支える必要不可欠な生活基盤施設として、重要な役割を果たしています。

メーターに異常がないか点検をお願いします。

水道ひとくちメモ

◆赤い水

水道管についた「鉄さび」が主な原因。しばらく水を出しているときれいな水になります。

◆白い水

水の中に空気が混じり、小さな泡ができたために白く見えます。そのままにしておく透明になります。

◆青い水

新しい給水管から溶け出した微量の銅イオンが、石けんと反応して「銅石けん」となり、タオルなどに付いて青く染まります。浴槽などに石けんや湯あかが残らないよう、手入れを心がけましょう。

6月1日(水)～7日(火)

第53回 水道週間

「蛇口からあふれるぼくらの夢・未来」



■問合せ
 上下水道局
 ☎757-3115

**十日町市消防団 十日町方面隊
 春季消防演習**

問合せ：十日町地域消防本部 ☎757-0119

水利から離れた火災現場を想定した中継送水訓練を実施します。

- 日時：6月12日(日) 午後1時～5時
- 場所：十日町小学校グラウンド
- 想定訓練内容



イラスト：阿部正子女性消防団員

十日町小学校グラウンド付近の山林から出火、消防団は中継送水で消火にあたる。現場から水利まで遠距離のため、小学校プールから自動車ポンプで積載車など小型ポンプに中継送水する放水訓練です。

消防団員募集

十日町市消防団長
 富井 利明

全国的に消防団員の数が減少しています。また、常備消防の技術・装備が充実した現代では、消防団の存在価値自体が薄れてきています。しかし、東日本大震災での消防団の活躍は、全国民の賞賛を得ました。残念ながら、殉職した人たちも大勢いましたが、これからの復旧・復興に向けたマンパワーに期待するところが大きいと思われます。今回の春季消防演習を見てもらい、消防団活動に理解を深められ、消防団の入団のきっかけになればと思います。

湯ゆコー米めマイ心こころハート

まつのやま

松之山支所
☎596-3131

坂口安吾まつり in 松之山

5月14日(土)、大棟山美術博物館で「坂口安吾まつり in 松之山」が開催され、各地の安吾の会のメンバーのほか、約60人が集まりました。

坂口安吾の姉が松之山の「村山家」に嫁ぎ、安吾自身も松之山に滞在し創作活動を行っていたことから、昭和62年に松之山に安吾碑を建立、「安吾まつり」はその翌年から開催されています。



館内では、松之山朗読の会の皆さんによる松之山伝説「本坂由來」の朗読や、安吾の長男で写真家の坂口綱男さんによるトーク・スライドショーのほか、ボイスアクトイストとしてNHKの番組などに出演し、活躍している橋由貴さんによる語りが行われました。新緑の中、美術館では、参加者が興味深く耳を傾けていました。



かわい新聞

川西支所
☎768-3111

楽しく体を動かして、気持ち良い汗を流しましょう レクダンス開講式

5月6日(金)、川西公民館でレクダンス教室の開講式が行われました。レクダンスとはレクリエーションダンスの略で、音楽のリズムに合わせて踊るダンスのことです。高齢者事業の一つで参加対象者は50歳以上となっております。現在は13人が参加しています。本年度の活動はすでに4月から始まっていますが、あらためてこの日に開講式となりました。

開講式では、はじめに数藤公民館長のあいさつがあり、続いて参加者の自己紹介を行いました。開講式を終えると、さっそく体を動かしました。



早く踊りたい気持ちを抑えての開講式



みんなで輪になって踊ります

す。まずは準備運動で念入りに体をほぐしてからダンスが始まりました。講師の指導を受けながら、ベテランから初心者まで皆さん元気に楽しく踊っていました。参加者からは、「テンポが速かったり、振り付けを覚えるのに頭も使うが、無理をしないで楽しく踊りたい」といった抱負が聞かれました。

皆さんもいっしょに踊って健康づくりと仲間づくりをしましょう。
☎申込み・問合せ：川西公民館
☎768-2308

道路清掃で心もリフレッシュ

5月1日(日)、川西地域内を通る国道252号沿いの清掃活動が行われました。

この活動は、環境衛生推進協議会川西分会と川西地域に勤務する市職員で長年行ってきた恒例の活動です。作業は千手・上野・橋・仙田の4地区に分かれて行いました。自動車に乗っていても気がつかないようなごみも多く、タバコの吸い殻や雑誌など多くのごみが回収されました。

小雨が降るなかでの作業でしたが、ごみを拾い終えた参加者の表情は晴れ晴れとしていました。



道路をきれいにすると、気持ちもきれいになります



雪解けを喜ぶように咲く水芭蕉

春の訪れを告げる花

今年も水芭蕉が咲きました

ようやく暖かくなってきた5月上旬、野口水ばし公園では、水芭蕉の花が見頃を迎えました。水芭蕉は尾瀬など高原の湿地が有名で、低地での群生は珍しいと言われます。同公園では、地元の保存会により保全管理されています。5月1日(日)には、恒例の野口水ばし祭りが開催され、名物の「水ばし汁」のサービスや、カラオケ大会などが行われ、訪れた人は春の一日を楽しんでいました。

松之山探鳥会に参加しよう！

第55回松之山探鳥会が美人林で開催されます。参加費は無料で当日参加もできます(小雨決行)。早起きをして、美しい野鳥たちに出会ってみませんか。

◆野鳥集会

日時：5月28日(土) 午後7時～9時
会場：松之山温泉センター「鷹の湯」
内容：講演「県内におけるブッポウソウと野鳥の実態」と発表会(予定)

◆探鳥会

日時：5月29日(日) 午前4時30分～7時30分
集合：「森の学校」キョロロ駐車場
探鳥地：美人林周辺・バードピア須山・松口地内探鳥コース

◆申込み・問合せ：

「森の学校」
キョロロ
☎595-8311



十日町市文化財指定記念展覧会 群馬凶屏風展開催

5月13日(金)から15日(日)までの3日間、松之山自然休養村センターで、十日町市文化財指定記念展覧会 雲谷等顔筆(六曲



一双)「群馬凶屏風展」が開催されました。この屏風絵は、昭和62年、松之山小学校校舎が竣工した時に、当時の故松之山町長村山政光さんが小学校に寄贈。市教育委員会は、市文化財保護審議会の答申を受けて、屏風絵を市文化財に指定しました。

等顔(1547年-1618年)は、桃山時代絵画史の中で狩野永徳らと並び称された四大巨匠の一人で、この屏風絵は、新作発見の重要文化財級の貴重な文化財です。期間中約200人が会場を訪れ、およそ400年前に描かれた屏風絵を鑑賞していました。

きらめき 青春 26

十日町中学校 生徒会本部

生徒全員が13の専門委員会に所属しています。今年のスローガンは「全力参加」。

全員で生徒会活動に一生懸命取り組むことが大事だと思っています。全力参加を支えるために、“委員会活動の連携強化”と“一人ひとりが役割を持つ”の2本の柱を決めて、活動の中からやりがいや達成感を感じて、より一層生徒会に興味を持ってほしいとがんばって活動しています。



小川まどか生徒会長——一人ひとりのがんなりが生徒会の活動を左右します。みんながそれぞれ役割を持って、活動を盛り上げてほしいと思います。つらいときもありますが、みんなから「楽しかったよ」「良い企画だったね」と言われたときはとてもうれしいです。また、活動を始めたばかりですが、まず本部役員に信頼され、そして、全校生徒がついてきてくれるような生徒会長になりたいです。

長谷川信之先生——当たり前の活動を確実にできることが大事だと話しています。さまざまな行事や企画を通して成長していったほしいと思います。楽しむだけでなく、活動の趣旨や目標を忘れずに、彼らにしかできない活動や提案が十中の雰囲気を作っていくと期待しています。

★ 星空散歩

ブ...ラ...ネ...タ...リ...ウ...ム...
ドーム中里
きららからの便り⑭

★問合せ 中里公民館 ☎763-2493

きららの番組の中で、メシエ31といった番号がよく出てきます。たとえばメシエ31はアンドロメダ大星雲、メシエ42はオリオン大星雲のことで、「メシエ」とは実はヒトの名前です。フランスの天文学者シャルル・メシエは熱心に新しい彗星探しをしていました。1730年生まれですから日本では徳川吉宗、暴れん坊將軍の時代の人です。ところが彗星を探しているうちに、夜空には見た目が彗星と紛らわしい天体があまりに多くて困ってしまいました。そこで、紛らわしい天体のリストを作りました。これがメシエカタログです。

メシエ31というのはこのカタログの31番目に書いてある天体という意味です。現在では、メシエ(Messier)の頭文字をとり、M31などと呼ばれます。メシエが87才で亡くなったとき、カタログには103

個が登録されていました。その後、メシエの弟子によって7個が追加され110個となりました。ところがその中の3個がどうしても確認できませんでした。どうやら勘違いがあったようで、現在では107個の天体が登録されています。ウルトラマン世代ならウルトラマンの生まれ故郷がM78星雲であることはよくご存じでしょう。故郷かどうかは別としてM78はオリオン座に実在します。メシエ天体は現在よりも旧式な望遠鏡で見つけた天体なので、アマチュア用の小型望遠鏡でも楽しめる、初心者向けの比較的明るい天体が多く含まれているのが特徴です。



【6月の番組情報】：☆6月の星空(定期) ☆「JAXAと宇宙開発」(企画番組)
 投影日：6月5日(日)・12日(日)・19日(日)・26日(日)
 投影時間：午前11時～(約40分間)

おふじの昔 (七十二)

「鉢のおふじ」の巻 (鉢)

今からずーっと昔のこと。鉢にお藤という美しい娘が父親と二人で暮らしていました。とても親孝行の娘で、縁談が降るほどありましたが、「おらが嫁に行ったら、お父が一人になって困る」と言いつて断り続けていました。

ある年、父親が病にかかりました。おふじは寝る間も惜しんで看病し、一心に神仏に快復を祈りましたが、父親の病は重くなるばかりでした。おふじは古老から聞いた薬草を探して山の中を歩きまわりました。するとあるとき、草むらに不思議な形をした石があるのを見つけてきました。おふじが見とれていると、どこからともなく、「おふじ、その石の粉を父親に与え

よ」という声が聞こえてきました。

我に返ったおふじは、「これが昔から伝わる仏石だ。ありがとうございます」と言いつて石を拝み、夢中で石を削りました。石の粉を持ち帰ったおふじは、早速水



にといて父親に飲ませました。すると、病が少しずつ軽くなり、やがて元気になりました。

このことが村中に広まり、「おふじの親孝行が神仏に通じたんだべ」と、みんながおふじをほめたたえました。このため、ぜひと

も嫁にほしいという話が毎日のように舞い込みました。おふじは断り続けました。

こうして、おふじ親子は幸せに暮らしていましたが、何年かたつたある春、父親がまた病に倒れましても仏石の粉も効かず、とうとう死んでしまいました。

おふじは何日も泣き暮らしましたが、これまで父親を長生きさせてくれた仏石に感謝するため、藤の花の着物を着て化粧し、お礼参りに行きました。おふじは仏石の前に立ち、「仏石さま、長い間ありがとうございました。お父が死んで、おらへえこの世に望みはねんだんが、どうぞ仏石さまのお嫁にしてください」とお参りしました。

すると不思議なことに、おふじの姿はたちまち花いっぱいの藤になりました。以来、村人たちはこの藤を「おふじさま」と呼んで敬うようになりました。

昭和の十日町 No.26

～山内写真館の世界～

第3回県下柔道大会 三船10段の神技披露

- 撮影時期：昭和31年7月15日
- 撮影場所：十日町中学校体育館

「空気投げ」で有名な三船久蔵10段(写真右)と、白石清一8段を迎え、一般・高校生あわせて24チームが参加した十日町柔道倶楽部主催の大会が盛大に開催されました。試合後、投げや受けの型、乱取りなど講道館柔道の神技が披露され、1,000人もの観衆を驚嘆させました。

● 問合せ：情報館 ☎750-5100



小中一貫教育 その2

■問合せ 学校教育課 ☎757-3336

市教育委員会では、今年一月、「保護者・家庭の教育力の向上」市内の小・中学校に勤務する全ての教職員436人を対象に、市が進める小中一貫教育に関してアンケートを行いました。

このアンケートは、学校現場で子どもたちに教育を実践する教職員が、①十日町市の教育的な課題をどうとらえているか、②それらの課題解決の手段の一つとして、市が進めている小中一貫教育に関して何を期待するか、③不安に思っていることは何か、④そして、小中一貫教育を実践して学校現場で実現したいことは何か、⑤それを実現するために市教育委員会に提案することは何か、などを把握するために実施したものです。今後3回に分けて、アンケートの結果について紹介していきます。

①教育的な課題

「十日町市の教育的な課題は何だと考えていますか」の問いには、「学力の向上」を選んだ人が全体の26%、「不登校の解消」が21%、

■問合せ 学校教育課 ☎757-3336

「小中一貫教育を導入すること」が18%、以下「教職員の指導力の向上」、「家庭学習の充実」と続きました。

「小中一貫教育への期待」には、「小学校から中学校へのスムーズな移行」が27%、「小・中学校教職員の連携や協力」が24%、「不登校の解消」が14%、以下「学力の向上」、「教職員の意識改革」と続きました。

■問合せ 学校教育課 ☎757-3336

教職員のアンケートの回答のように、当市の教育的な課題を解決する手段の一つとして、小中一貫教育が期待されています。しかし、子どもたちの豊かな「学び」と「育ち」の実現には、学校現場だけではなく、地域や家庭の関わりも大切です。まずは、「早寝・早起き・朝ごはん」や家庭学習などの基本的な生活習慣が子どもたちに身につくように、家族みんなで話し合い、いっしょに取り組みませんか。

新 コメを食べよう!!

米を使ったレシピ集②

平成22年度に「にいがた十日町市食の協議会」で地元食材にこだわって開発した、新しい米料理のメニューを紹介しします。レシピは市観光協会のホームページにも掲載しています。

●問合せ 産業観光企画課 ☎757-3691

ライス十日町餃子

◆材料 (6個分)

- ・妻有ポーク(ミンチ) …30g
- ・キャベツ…40g ・人参…5g
- ・ニラ…5g ・エリンギ…5g
- ・えのき…3g
- ・ごはん(魚沼産コシヒカリ) …15g
- ・長ネギ…2g ・にんにく…2g
- ・しょうが…2g ・餃子の皮…6枚
- ・塩…少々 ・ごま油…少々
- ・しょうゆ…小さじ1/2
- ・米粉…1g ・サラダ油…小さじ1
- ・お湯…大さじ1

◆作り方

- ①キャベツをゆでて水気を絞り、あらみじん切りにする。
- ②人参・ニラ・エリンギ・えのき・長ネギ・にんにく・しょうがを全てみじん切りにする。
- ③ボウルに①②を入れ米粉をまぶす。
- ④ごはん、肉を加えよくこねたら、調味料(塩・しょうゆ・ごま油)を加える。
- ⑤餃子の皮の端に水をつけ、ひだをつけながら④を包む。
- ⑥フライパンにサラダ油をひき、⑤を並べる。中火で焼き、焦げ目がついたら大さじ1のお湯を入れ蓋をする。
- ⑦中火で3~4分蒸し焼きにする。
- ⑧蓋を開け水分をとばし、焼き上げる。



とおかまち観光ドット混む情報

観光交流課 ☎757-3100

「と」っても「お」得に「か」んこう「ま」ちめぐり「とおかまちチケット」参加事業者の募集

市観光協会では、観光客の皆さんから市内を周遊してもらい、滞在時間の延長や満足度の向上を図るため、お得に観光を楽しめる周遊チケット「とおかまちチケット」を発行する予定です。

■期間：9月～24年3月(予定)

■概要

- ①観光施設などでとおかまちチケットを配布します。
- ②泊まる・体験する・食べる・お土産・温泉のサービスを利用した場合にポイントを贈呈します。※とおかまちチケット利用者への優待サービスも歓迎します
- ③一定数のポイントで応募すると、特産品などのプレゼントが当たります。

■募集する事業者(市内限定)

宿泊施設、体験施設、飲食店、お土産販売店、日帰り入浴施設

■参加条件

とおかまちチケットを持参したサービス利用者に自店スタンプを押印してもらいます。

■申込み・問合せ

申込みを希望する場合は、6月10日(金)までに連絡してください。

(株)十日町市観光協会 ☎757-3345

「だいじんがあ」みつけ!

キョロコ 十日町市

春の女神ギフチョウ

里山の雑木林の雪が消え、カタクリやスマミレの花が咲く頃、黒と黄色のだんだら模様のギフチョウが舞い始めます。体温を上げるために日光浴をするギフチョウは、枯れ草に溶け込んでなかなか見つかりません。太陽が高くなり、気温が上がるとギフチョウは紫色やピンクの花を訪れて蜜を吸い、その美しい姿は一度見ると忘れることができませぬ。

ギフチョウはスプリング・エフェメラルとよばれる、春のはかない短命なチョウです。雪国では雪解けが遅れると現れる時季も遅れます。平年では、4月下旬から現れ、1か月ほどその姿を見ることができます。雪解けとともに標高の高いところへと出現が移り、標高600mくらいになると6月いっぱいその姿を見ることができます。

ギフチョウという名前は、その名のとおり最初に発見された岐阜県にちなんで名付けられたもので



ギフチョウ

す。日本に生息する約250種のチョウのうち、10数種が日本特産種です。そのうちのひとつであるギフチョウは十日町市で多産します。

雌は、幼虫の食草であるカンアオイにパールグリーン色の卵を10卵前後まとめて産みます。ふ化した幼虫はカンアオイの新葉を食べ、大きくなります。その後さなぎになり、そのまま冬を越し、翌春再び成虫になるのです。

今月、チョウの愛好家から、20年近くかけて採集されたギフチョウの標本約2200頭がキョロコに寄贈されました。学術的にも価値のある標本で、キョロコの宝物がまた一つ増えました。

■問合せ

キョロコ ☎595-8311



このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。
情報がありましたら、企画政策課広報広聴係（☎757-3112）
へ気軽にお寄せください。市民リポーターも募集しています。

まちの話題

TOWN TOPICS

姉妹都市のイタリア・コモ市からハープ奏者が十日町市を訪問しました

5月12日(木)・13日(金)、イタリア・コモ市からハープ演奏者でセルティック・ハープ・オーケストラディレクターのファビウス コンステーブルさん(37歳)が十日町市を訪れました。コンステーブルさんは東日本大震災で被災した人々を慰問する目的で9日に来日。東京で寄付を募るコンサートを開催したのち、福島県、宮城県、岩手県、青森県の避難所を巡る慰問コンサート(24日まで)に先立ち、姉妹都市の十日町市を表敬訪問したものです。コンステーブルさんは、市内滞在中に長野県北部地震で被害のあった奴奈川小学校を訪問。奴奈川小学校と浦田小学校の児童17人を前に、イタリアから持参してきた電子ハープで、雨を表現した曲や古くから伝わる舞踊曲など4曲を披露しました。また、川治小学校と十日町中学校も訪問。川治小学校では、交流関係にあるコモ市のフランチェスコ・バラッカ小学校の子どもたちから預かったイラストや手紙などを、川治小児童に手渡しました。コンステーブルさんは、「今回の震災は放射能の問題などイタリアでも大々的に報道されています。今回の訪問を通して、イタリア人が皆さんのことを心配していると直接伝え、音楽で皆さんを勇気づけたい。また、直接この目で日本を見ることで、日本が安全だということイタリアの皆さんに伝えたい」と話していました。



木挽きの体験授業が実現しました！

5月2日(月)、吉田小学校で全校児童74人と地域の人たちが参加して、木挽きの体験授業が行われました。十日町の中山間地に残る貴重な山仕事の伝統技術を、子どもたちに楽しく伝えたいという地域おこし協力隊の吉田・松代地区のメンバーと吉田小学校との協同企画で実現した特別授業です。指導には、秩父で木挽き体験を積極的に実施している大工棟りょうの上林歳明さんをはじめ、首都圏の学芸員の皆さん、のこぎりなどの専門家がボランティアで参加。また、ゲストに建築家のカール ベンクスさんを迎えた、古民家の大切さの話もありました。地元などから調達した丸太を大鋸で挽いて、その感触や木の香り、木肌の色の違いなどに歓声をあげました。切られた丸太は、今後、テーブルや椅子として校庭で活用されることになっています。(市民リポーター：門脇洋子さん)

わんぱく相撲十日町場所

5月8日(日)、市武道館相撲場で第27回わんぱく相撲十日町場所(社十日町青年会議所主催)が行われました。今年は、市内の小学1年生から6年生まで43人のわんぱく力士が出場。全員で準備体操をした後、白熱した取組を繰り広げました。4年生以上の参加者から十日町代表チームを選出し、6月19日(日)に新潟市南区で開催される県大会へ出場します。優勝者は次のとおりです。(敬称略) ▼1年生の部：関真成(東小) ▼2年生の部：登坂凌也(上野小) ▼3年生の部：佐藤豪(吉田小) ▼4年生の部：滝澤海斗(十日町小) ▼5年生の部：西川匠(東小) ▼6年生の部：藤ノ木颯(東小)



あじさい公園で初めての観桜会

5月5日(子どもの日)、あじさい公園で観桜会が初めて開催されました。桜を植えたのは公園の管理を行っている八箇地区振興会の皆さん。15年前から四季折々の名所づくりにと植え始め、今では70本の八重桜が育てられています。豪雪で開花が遅れたためか満開とはいきませんでした。地区民約30人が集まって桜酒や山菜料理に舌鼓を打ちながら桜の花を楽しみました。年を追うごとに見事になる淡いピンクの八重桜。新たな桜の名所として、見ごろには花見客でにぎわうことになるでしょう。(市民リポーター：風間栄光さん)

どくどるマンボウ昆虫記刊行50周年イベント開催中

5月8日(日)、森の学校キョロロで記念イベントが開催されました。記念イベントでは東京都在住のチョウ愛好家から、市に2,200頭を超えるギフチョウ標本と貴重なチョウの図鑑が寄贈され、市から愛好家に感謝状が手渡されました。続いて「どくどるマンボウ昆虫展」の関連イベントとして、語りべの伊藤しのぶさんとチョウ研究家の新部公亮さんを招いて、どくどるマンボウ昆虫記の語りと昆虫展の解説が行われました。昆虫展は6月19日(日)まで開催しています。



5月15日(日)、第3回山のごったく祭りが下条神明水辺公園で行われました。この催しは東下組おんなしよの会が企画したもので、山菜販売やチャリティ飲食コーナーにはたくさんの方が集まっています。会場内では、下条中学校吹奏楽部の演奏や南京玉すだれの披露、カラオケなどが余興で行われました。代表の水落静子さんは、「3回目を迎えることができました。来年もがんばって継続していきたい」と話していました。(市民リポーター：金子又市さん、根津明義さん)

第3回山のごったく祭

櫻花レスリング道場開設20周年

5月9日(月)、十日町中学校を会場に、塩ノ又櫻花レスリング道場開設20周年記念事業として、トーク講演会が開催されました。コーディネーターは元日本テレビの松永二三男さん。パネリストはオリンピックメダリストの吉田沙保里さん、伊調馨さん、浜口京子さん。まず3選手のプロフィールと秘蔵写真を紹介し、レスリングを始めたきっかけ、特に中学生の頃レスリングとどう向き合ったかを話しました。26年間女子レスリングのコーチをしている木名瀬重夫さんの解説で実演をしながら、レスリングのルールやポイントの取り方の説明があり、来年開催のロンドンオリンピックにはぜひテレビ中継を見てほしいと話がありました。最後に生徒全員から一人ひとりにエールが送られました。(市民リポーター：樋口道子さん)





お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

GUIDE し座 催講

第12回 笹山じょうもん市

今年から発掘作業が始まる笹山で、縄文を楽しみます。

●日時 6月5日(日)午前9時30分〜午後3時 ●会場 笹山遺跡広場(笹山縄文館前) ●ゲスト 刈谷俊介さん(俳優)、田口ランディさん(作家)

●問合せ 中条公民館 (☎752-2748)

平成園健康のこども

ロビーコンサートや講演会、健康相談などがあります。送迎付き。

●日時 6月12日(日)午前10時〜午後3時40分 ●参加費 1,000円(昼食)

代含む) ●定員 先着60人 ●申込み・会場・問合せ 6月3日(金)までに平成園 (☎758-3924)

●同時開催 記念特別展国際写真サロン展 ●日時 6月11日(土)午前10時〜午後8時 30分・12日(日)午前9時〜午後8時 30分・13日(月)午前9時〜午後5時・14日(火)午前9時〜午後4時 ●会場 市民体育館 ●内容 日本画・洋画・版画・現代美術・彫刻・工芸・写真

●入場料 無料 ●問合せ 若月 (☎090-7428-0558)

【同日開催】記念特別展国際写真サロン展 ●日時 6月11日(土)午前10時〜午後8時 30分・12日(日)午前9時〜午後8時 30分・13日(月)午前9時〜午後5時・14日(火)午前9時〜午後4時 ●会場 市民体育館 ●内容 日本画・洋画・版画・現代美術・彫刻・工芸・写真

●入場料 無料 ●問合せ 若月 (☎090-7428-0558)

第20回 十日町市芸術協会 会員展(美術館建設基金チャリティ小品展)

【同日開催】記念特別展国際写真サロン展 ●日時 6月11日(土)午前10時〜午後8時 30分・12日(日)午前9時〜午後8時 30分・13日(月)午前9時〜午後5時・14日(火)午前9時〜午後4時 ●会場 市民体育館 ●内容 日本画・洋画・版画・現代美術・彫刻・工芸・写真

●入場料 無料 ●問合せ 若月 (☎090-7428-0558)

第14回 森のオカリナ コンサート

●日時 5月29日(日)午前11時〜午後1時30分 ●入場料 一般500円(入館料込み)、中学生以下無料(入館料別) ※入場券は当日販売 ●出演 五十嵐正子さん(オカリナ)、山下久樹さん(パーカッション)、オカリナ。

ほっと10周年フェア

空クジなしのお楽しみ抽選やフリーマーケットがあります。

●日時 6月11日(土)・12日(日)午前10時〜午後4時 ●会場 問合せ カネタケ建設(小黒沢) (☎758-3332)

「だんごおまもり」づくりワークショップ

祈禱してもらっただんごを十日町の着物地で縫った袋に入れる「だんごおまもり」を

「森の学校」キョロロ 6月の里山体験プログラム

日	時・テーマ
4日(土)	午後1時〜3時 トンボ調査(無料)
5日(日)・12日(日)・19日(日)・26日(日)	午後1時〜2時30分 里山の生き物探検
11日(土)	午後1時〜3時 プナ林調査(無料)
18日(土)	午後1時30分〜5時 花ごよみ調査(無料)
25日(土)	午前4時30分〜7時30分 探鳥会(無料) 午後7時30分〜8時30分 ホタル観察会

※小学3年生以下は保護者の同伴が必要です

●入館料: 大人500円、小・中・高生300円(市内小・中学生は無料)

●参加費: 大人500円、小・中・高生300円

●集合場所・問合せ キョロロ ☎595-8311

GUIDE 募集

物件	間取り	家賃(月)	戸数
谷内丑住宅(世帯用)	昭和59年度建築 鉄筋コンクリート3階建	6帖2室 4.5帖1室 DK	1戸
大黒沢泉宮住宅(単身用)	昭和46年度建築 簡易耐火2階建	6帖1室 3帖1室 DK	1戸

公営住宅入居者募集

●募集期間 5月30日(月)〜6月10日(金) ※入居資格など申込み条件の詳細は問い合わせください。

●申込み・問合せ 都市計画課建築住宅係 (☎757-9935)

「北越志研究会」の参加者募集と公開講演会

210年前に旧田沢村(中里)に滞在した江戸の博物学者・亀井協従の著作「北越志」を読み解き、郷土の文化や民俗を再発見してみませんか。

6月18日は公開講演会『北越志』成立の背景と意義(先着90人)を開催します。

●日時 6月18日(土)・7月16日(日)・9月17日(土)・10月15日(土)・11月19日(土)・12月17日(土) (全6回)

コンテナガーデンまつり2011参加者募集

手作りコンテナガーデンで、吉田クロスカントリー競技場を飾ってみませんか。

6月12日(日)午前9時から吉田中学校で無料講習会を行います(参加者限定)。

●展示期間 9月4日(日)〜11日(日) ※審査発表は4日(日) ●対象 個人や家族、団体など ※花を商売

キルトフェスティバル in 新潟2011 ツアー参加者募集

新潟県最大級のキルトの祭典です。詳しくは問い合わせください。

●日時 6月25日(土)午前9時〜十日町駅西口出発 ●行き先 朱鷺メッセ(新潟市) ●参加費 4,200円(交通費・入場料) ●定員

松代観音祭(7月23日土) 打上花火募集

夜空にあなただけの花を咲かせてみませんか。詳しくは問い合わせください。

●申込み・問合せ 6月20日(月)までに松代観音祭実行委員会 (☎597-2006)

NPO法人KHJ にいがた「秋桜の会」 十日町サークル参加者募集

ひきこもりなど、大変さを抱えている若者の保護者の会です。気軽に参加してみませんか。

●日時 毎月第3木曜日午後6時30分〜8時30分 ●会場 千手中央コミュニティセンター ●参加費 無料 ●専任カウンセラー 栗田いね子さん(元石川県立看護大学教授) ●問合せ 小海 (☎090-3800-9556)

むし歯のないよい歯の子

4月の3歳児健診を受けた子37人

よい歯の子	住所	保護者
服部雄真	(本町1上)	諦円
根津美優	(八幡田町)	吉晴
山田美磨	(諏訪町)	幸市
田中くるみ	(田中町本通り)	玲子
川邊陽生	(南新田町1)	善行
近藤優和	(南新田町3)	真智子
庭野大央	(上原)	浩之
斎藤優大	(中条上町)	貴男
上村利華	(川治下町1)	大輔
藤田美利	(妻有町東1)	美緒
五十嵐大晴	(高山3)	正直
千原朗	(千歳町2・3)	祥一
福崎登	(田麦)	裕一
富井菜菜	(馬場3)	秀樹
西野碧	(発電所通り西)	一巳
押木龍空	(南台)	丈宏
小野塚葵	(上山)	喜久一郎
山口音光	(上山)	裕満
江藤彩音	(通り山)	純一
富井柚奈	(市之越)	祐幸
阿部結衣	(堀之内)	貴英
池田結世	(松代)	秀政
山本宗一	(松代)	伸寿

※保護者の承諾を得て掲載しています

大震災チャリティ公演 フラメンコフェスティバル

2011年6月12日(日) 開場/13:30 開演/14:00
十日町市市民会館(大ホール) 前売券 500円
(当日券:800円・中学生以下無料)
十日町市を通じて全額大震災義援金として寄付させていただきます

フラメンコスタジオ 《ソイ・ヒターナ》

前売券取扱所/各公民館(十日町市中央・中条・下条・水沢・川西・中里)・十日町パソコンカレッジ・横溝六・藤吉田商会、他
主催・お問合せ/フラメンコスタジオ(ソイ・ヒターナ)入沢百合子(025-768-3626/090-1123-4314)

第3回 越後つまり100km 徒歩の旅スタッフ募集

4泊5日で妻有地域内100kmを歩き抜く小学生の歩行や生活全般をサポートしませんか。詳しくは問い合わせください。●実施日 8月6日(土)〜10日(水)※事前にスタッフ会議などあり●対象者 高校生以上●申込み・問合せ 上村(☎090-3312-0403)

河川愛護モニター募集

●募集人数 若干名●応募資格 満20歳以上で信濃川・魚野川に接する機会があり、河川愛護に関心のある人で、河川からおおむね5km以内に住んでいる人(5km以上でも活動できる人なら可)●業務内容 信濃川・魚野川にかかわる河川愛護活動や地域情報などを報告(月1回の定期報告と随時報告)※報告は公開する場合あり●任期 7月1日〜24年6月30日(1年間)●手当 月額4,580円●応募方法 しがきに住所・氏名・

年齢・性別・電話番号を明記のうえ「河川愛護モニター応募用紙希望」と記入し送付●申込み・問合せ 6月9日(木)までに〒940-0098長岡市信濃1-5-30信濃川河川事務所占有調整課「河川愛護モニター募集」係(☎0258-32-3268)

パソコンビジネス 基礎演習科受講生募集

厚生労働省の緊急人材育成支援事業基金訓練です。ビジネスマナーや簿記、パソコン操作、CAD、webなどを習得します。●日時 6月27日(月)〜12月9日(金)(土・日曜日、祝日を除く)午前9時10分〜午後3時50分●対象 18歳以上、受講を勧められた人●受講料 無料(テキスト代12,000円程度が別途必要)●定員 20人●申込み 6月3日(金)までに、ハローワークで受講申込書の交付を受け、返信用封筒に郵便番号・住所・氏名を記載し、80円切手を貼付して申込書とともに問合せ先に送付または持参●会場

問合せ 949-8522 十日町市伊達甲960-1スリーエスITトレーニングセンター基金訓練係(十日町ソフトラーム内 ☎750-2870)

第7回市長杯ファミリーゴルフ大会

●日時 6月4日(土)午前7時30分〜●会場 ナカゴグリパーク●参加費 4,000円(プレー代、軽食代込み)●定員 先着50人●申込み・問合せ 5月30日(月)までに、参加費を添えてサンパレスナカゴ(☎768-4419)



5月の納税・納付

5月は固定資産税第1期、軽自動車税、国民健康保険税第2期、後期高齢者医療保険料第2期及び介護保険料第2

潟地方法務局十日町支局(☎752-2575)

山菜採りでの事故に注意してください

今年は大雪や震災の影響で、山の様子が違う場所が多く見られます。慣れた場所での山菜採りでも、慎重な行動をお願いします。次のような心がけで事故を防ぎましょう。◇行き先を家族に言う◇携帯電話を持ち、定期的に家族へ連絡する◇短時間でも軽食や飲み物を持っていく◇無理な行動はしない◇複数での行動を心がける●問合せ 防災安全課(☎757-3197)

林野火災に注意

空気が乾燥する時期になりました。たき火や火入れが延焼し、林野火災につながり危険が高くなっています。次のように心がけ、林野火災を防ぎましょう。◇たき火など行う場合、完全に消火するまでその場を離れない◇強風時や乾燥時にはたき火、火入れをしない◇枯れ草などがあり、

情報館 6月のテーマ図書

「テレビのあゆみ」(地デジ移行の準備はできましたか?『よくわかる最新デジタル放送の基本と仕組み』『池上彰のメディア・リテラシー入門』などテレビに関する本) 「古代」(『古代世界四つの遺産』『ローマ人の物語』など世界の古代文明に関する本) 「なんのおと?」(『じゃあじゃあびりびり』『音のふしぎ百科』など身近な音に耳をかたむける本) 「岡田淳を読む」(『二分間の冒険』『放課後の時間割』などで知られる岡田淳さんの作品を紹介。※5月21日(土)から展示しています) ※テーマは一部変更したり追加したりする場合があります ●問合せ 情報館 ☎750-5100



6月の休館日

●中央公民館 毎週月曜日 ●千手中央コミュニティセンター 毎週火曜日 ●博物館 毎週月曜日 ●情報館 毎週月曜日 ●市総合体育館 21日(火)

本庁舎の休日証明発行窓口は5月末で終了します

自動交付機の稼働に伴い、本庁舎での土・日曜日に実施している住民票などの証明書発行業務は、5月末で終了します。●問合せ 市民生活課 市民年金係(☎757-3116)

十日町駅地下道に作品を展示しています

6月は、中条中学校区の児童・生徒の作品を展示します。ぜひご覧ください。●問合せ 中央公民館(☎757-5011)

守ろう!電波のルール

6月1日(水)〜10日(金)は、電波利用環境保護周知啓発強化期間です。電波の良好な利用

十日町病院耳鼻咽喉科 臨時休診のお知らせ

6月1日(水)・8日(水)は耳鼻咽喉科が休診となります。ご理解とご協力をお願いします。●問合せ 十日町病院経営課(☎757-5566)

福祉課からの お知らせ

障がい者世帯に火災警報器設置購入に必要な費用を給付しています。 ●対象 療育手帳(重度)、または障がい等級2級以上の身体障がい者手帳の交付を受け、火災発生の感知や避難が著しく困難な人。 ●性能 室内の火災を煙や熱により感知し、音または光を発し、屋外にも警報ブザーなどで知らせるもの。 ●限度額: 15,500円 ●問合せ: 福祉課障がい福祉係 ☎757-3782

2月〜5月分の子ども手当を振り込みます

振込日は6月10日(金)です。 ●子ども手当の月額 中学校修了前の子ども1人につき1万3,000円 ●問合せ 子育て支援課子育て支援係(☎757-3719)

行政相談員を委嘱します

行政相談員は、国税・登記などの国の業務、独立行政法人や特殊法人の業務、地方公共団体が国から委任や補助を受けて行っている業務についての苦情や意見・要望、問合せなどを受けますので気軽に相談してください。相談は無料です。 ●日時 十日町地域: 富井一男、柳邦男 ●川西地域: 村越家 ●中里地域: 上原昌子 ●松代・松之山地域: 小野塚修一 ●問合せ 市民生活課市民年金係(☎757-3116)

6月1日(水)は 人権擁護委員の日

市には、市長から推薦されて法務大臣が委嘱した人権擁

●休日救急医

●診療時間：午前8時30分～午後5時
※昼休み時間が医療機関により異なりますので、午後の診療開始時間は問い合わせてください

Table with 4 columns: 期日, 医療機関名, 住所, 電話番号. Rows include 庭野医院, 津南病院, 田中外科医院, 小林内科医院, 上村病院, 本町クリニック.

●乳幼児健診

- ◎会場…十日町保健センター（市役所隣）
◎持ち物…母子健康手帳、問診票、フッ化物歯面塗布希望確認票（1歳6か月児のみ）、視聴覚アンケート（3歳6か月児のみ）、着替えやおむつなど必要なもの
◎健診は体調の良いときに受診してください。欠席や体調が心配な場合は、本庁または各支所へ連絡してください
◎3歳6か月児健診は事前に検査セットを送ります。届かない人は本庁へ連絡してください
◎健診終了時間が遅くなることがあります。ゆとりをもって来てください

Table with 4 columns: 事業名, 期日, 受付時間, 対象児. Rows include 4か月児健診, 10か月児身体測定, 1歳6か月児健診, 2歳6か月児身体測定, 3歳6か月児健診.

健康相談・休日救急医・離乳食教室・乳幼児健診・乳幼児の健康相談の問合せ
十日町本庁（代表） 川西支所（市民課直通） 中里支所（市民課直通） 松代支所（市民課直通） 松之山支所（市民課直通）
☎757-3111 ☎768-4956 ☎763-3121 ☎597-2221 ☎596-2169

▼はじめまして、4月より事務支援員として十日町市役所に勤務となりました（佐）と申します。広報担当ということで自分の書いた文章や撮った写真が市報に載ると思うと何か小恥ずかしい気分になります。写真を撮れば普段使い慣れない大きなカメラの重みで被写体の頭が欠けたり、記事を書けばインタビュー不足で文字数ギリギリになったりと、まだまだ至らない事ばかりですが、皆さんのところへ取材に行くこともあるかと思っております。その時は生温かく見守ってくださいと幸いです。他にも十日町市公式ホームページの更新などの業務も行っていきますので、そちらも市報と並んで見ていただくとうれしいです。（佐）

●離乳食教室

Table with 3 columns: 事業名, 対象児, 開催日. Rows include 離乳のはじめてコース, ステップアップコース. Includes 会場, 受付時間, 持ち物 information.

●健康相談

Table with 3 columns: 期日, 会場, 受付時間. Rows include 6日(月)・20日(月), 7日(火), 9日(木), 17日(金), 20日(月), 24日(金), 27日(月). Includes 保健師による相談 and ※健康手帳のある人は持参してください.

●乳幼児の健康相談

Table with 3 columns: 期日, 会場, 受付時間. Rows include 8日(水), 9日(木), 10日(金), 28日(火). Includes 対象は乳幼児とその保護者です.

▼はじめまして、4月の人事異動で川西地域の広報担当となりました（池）と申します。小さな頃から文章を書くことが大の苦手でしたので、自分が書いた記事が読まれるかと思うと少し照れくさい気がしています。出身は川西地域外です。取材については知らないことばかりで、取材はいつも新鮮な気持ちです。取材に出ることは地域を知る良い機会と考へて、地域を回りたいと思います。まったくの広報初心者ですが、少しでも良い情報を発信していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。（池）

●ちびっこひろば

なかよしランド

- 日 時 毎週火曜日 午前10時～11時
●対 象 1歳～就園前のお子さんとその保護者
●会 場 市民体育館
●問合せ 中央公民館 ☎757-5011

いっしょにあそぼ

- 日 時 毎週木曜日 午前10時～11時
●対 象 未就園児とその保護者
●会場・問合せ 水沢公民館 ☎758-3101

ぐりぐりルーム

- 日 時 11日(土) 午前10時～11時
●会 場 下条公民館
●対 象 乳幼児～小学生
●問合せ 水落 ☎756-2254

おはなしひろば

- 日 時 11日(土) 午前10時～
●対 象 園児～小学生
●会場・問合せ 中里公民館 ☎763-2493

おはなしたまてばこ

- 日 時 9日(木) 午前10時～11時
●対 象 乳幼児とその保護者
●会場・問合せ 情報館 ☎750-5100

読み聞かせの会「どんぐり」

- 日 時 18日(土) 午後2時～3時
●対 象 幼児～小学生
●会場・問合せ 情報館 ☎750-5100

おはなしぴよぴよ

- 日 時 4日(土)・11日(土)・25日(土) 午前10時30分～11時
●対 象 乳幼児
●会場・問合せ 情報館 ☎750-5100

おはなしの会「ふきのとう」

- 日 時 18日(土) 午前10時～11時
●会 場 千手中央コミュニティセンター
●対 象 乳幼児～小学3年生
●問合せ 保坂 ☎090-7814-9462

十日町おやこ劇場～おはなしてんこもり～

- 日 時 4日(土)・11日(土)・18日(土)・25日(土) 午前10時30分～11時30分
●対 象 どなたでも参加できます
●会 場・問合せ 十日町おやこ劇場事務所・加賀書院 ☎752-2114
※加賀文庫の絵本の貸し出しも行っていきます

- 心配ごと相談 問合せ 社会福祉協議会 ☎750-5010
会場：社会福祉協議会（本所・支所）
時間：午後1時30分～4時
▽十日町本所 毎週木曜日
▽中里支所 17日(金)

●こころの健康相談

不眠、不安、意欲の低下などで悩んでいませんか。本人でも家族でも無料で相談できます。※要予約
●日 時 14日(火) 午後2時～4時
●会 場 川西庁舎
●医 師 山下医師（山下メンタルクリニック）
●申込み・問合せ 健康支援課成人保健係 ☎757-9764

●臨床心理士こころの相談会

人間関係や家庭問題などで悩んでいませんか。無料で相談できます。※要予約
●日 時 1日(水) 午後1時～3時
●会 場 十日町保健センター（市役所隣）
●申込み・問合せ 健康支援課成人保健係 ☎757-9764

●全血献血

皆さんのご協力をお願いします。
●期日・会場・受付時間 28日(火) 中里総合センター 午前10時～正午 JA十日町本店 午後1時45分～3時30分
●問合せ 健康支援課母子保健係 ☎757-9759

●各種相談のお知らせ

- ジョブカフェ（若者のための仕事相談） おおむね30代半ばまでが対象です ジョブカフェながおか（☎0258-38-6181）へ要予約 3日(金) 午前10時～午後3時 会場：本町分庁舎
●法律相談 市民生活課市民年金係（☎757-3116）へ要予約 毎週木曜日 午後1時30分～4時 会場：本庁消費生活相談室・行政相談室
●行政相談 【十日町地域】 10日(金) 午前10時～正午 会場：本庁消費生活相談室・行政相談室 【川西地域】 15日(水) 午後1時30分～3時 会場：はあとふる川西
●定例年金相談 9日(木)・23日(木) 午前10時～正午、午後1時～3時 会場：クロス10
●多重債務相談 産業振興課商工振興係（☎757-3740）へ要予約 8日(水) 午後1時30分～4時30分 会場：本庁消費生活相談室・行政相談室
●消費生活相談電話 月～金曜日（休日・祝日・年末年始を除く） 午前9時～午後4時 ☎757-3740
●教育・少年相談 月～金曜日（休日・祝日・年末年始を除く） 午前9時～午後5時 会場：教育センター（川西庁舎内） ※電話相談（☎756-5010）も行っていきます
●女性相談専用電話 月～金曜日（休日・祝日・年末年始を除く） 午前8時30分～午後5時15分 ☎757-3701
●手話奉仕員窓口配置 日時：13日(月) 午前11時～午後3時 配置場所・問合せ：福祉課 ☎757-3782



熱中 夢中

この時 38

早稲田松代塾

松代を文化発祥の地に

松代・早稲田大学交流30周年を機に始められた早稲田松代塾。早稲田大学で教べんを執る先生が講師となり、2か月に1回、松代で講義を行います。3期目となる今年の講義は既に4月から始まり、「日本古代史の謎に迫る」をテーマに年6回の授業が予定されています。

● 問合せ 木戸一之さん
 ☎ 045-951-1698



残雪による影響から会場を早稲田大学松代セミナーハウスから松代ふるさと会館に移しての講義には、定員の40人を超える約80人が集まりました。



今年6回（全12講座）の講義は、早稲田大学講師で史学博士の松尾光さんが講師を務めます。4月24日は「仏教の導入の背景には、大王家と蘇我家のどんな思惑があるのか」などについて、質の高い講義が午前・午後により行われました。



塾の開講を提案した木戸一之さん（神奈川県横浜市・71歳）。「松代地域の人間性が魅力。この地で塾を開講することに意味があります」と話します。

「地方にこそ人材は隠されています。この地で早稲田塾を開講することが、松代早稲田交流を進めてきた中で必要とと思っていました」と話すのは、早稲田大学OBで、松代早稲田協力会の木戸一之さん。妻の幸子さんが松代出身という縁で、早稲田大学の校外施設が開設され、交流が始まって32年。校外施設は、全国に5か所ありますが、地元住民との間で活発に交流が行われているところは他にはありません。松代と早稲田大学の交流は幅広く、マンドリン楽部の演奏会に始まり、平成10年からは学生による雪掘りボランティア活動、11年からは松代小学生による理工学部理科教室への参加、17年からは農山村体験実習の田植えや稲刈りなどがあります。

木戸さんは、「今までの交流で欠けていたのが、日本の学府としての役割、早稲田の『知』です。この塾は時流に流されるのではなく、純粋に大学の学問をする場です。たとえば受講生が1人であっても、本物を学びたい人に開かれています」と話します。「この塾によって、この地域に何か新しい展望が開ければ、本当の意味で早稲田が地域に役立ったと思っています」と熱く語りました。